

# Nivolumab+Ipilimumab 療法

ニボルマブ(オプジーボ®)+イピリムマブ (ヤーボイ®)

**【適応】**

切除不能な進行・再発の食道癌（扁平上皮がん）

**【投与スケジュール】**

	Day1	Day15	Day29	.....	Day42
ニボルマブ 240mg 点滴静注(30分以上)	↓	↓	↓		
イピリムマブ 1mg/kg 点滴静注(30分)	↓				

6週ごと PD（憎悪）まで（最大24ヶ月）

	Day1	.....	Day22	.....	Day42
ニボルマブ 360mg 点滴静注(30分以上)	↓		↓		
イピリムマブ 1mg/kg 点滴静注(30分)	↓				

6週ごと PD（憎悪）まで（最大24ヶ月）

- ニボルマブ投与時、インラインフィルター(0.2又は0.22µm)のある点滴ルートを用いて投与すること。
- 希釈する場合、1回240mg投与時の総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下となるように調製すること。
- 本剤の作用機序に基づき、過度の免疫反応による副作用があらわれることがある。これらの副作用は、対応によっては重篤または死亡に至る可能性がある。観察を十分に行い、異常が認められた場合には、発現した事象に応じた専門医と連携して適切な鑑別診断を行い、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うことが必要。